

264. 福Q(踏んだり蹴ったりを乗り越えて)

・2022年7月某日未明に大手携帯業者の大規模な通信障害が発生した。
・その前日にネット経由で研究用のお米を発注した。当日夕方には大手宅配業者を媒介し発送拠点から搬出されたことを業者の追跡システムにより確認できた。

【通信障害当日】朝、PCから追跡システムによって、配達センターに到着し「配達中」の表示を確認した。こんなに早く配達されるとは想定しなかった。通信障害は、予定していた理容店へ午後からの予約を試みたところで実感した。その時点でスマホからHPへのアクセスは可能であり、通話ができない状態であった。固定電話から予約し、予定通り午前前に買物・調達、午後から理容店へと計画した。「荷物」は、通信障害も直ぐに”復旧”と信頼し、もし配達されていれば、ドライバーさんには申し訳ないが、再配達してもらおうとして行動した。結果、出かけた直後に訪問の旨の再配達案内の伝票が届いていた。その後、何度も何度も再配達依頼の電話をかけるも一向に繋がらず、その大手宅配業者も連絡媒体に大手携帯業者を利用していたことが判った。その日は無為に終了。

【障害2日目】何度も何度も再配達依頼の電話をかけるも不通。固定電話からも何度も試みたが不通。コールセンターへかけるも「大変込み合っています」とのこと。バタバタしている間に再配達に来訪されていたようだが、全く気付かずPCから追跡システムによって来訪を知った。インターホンの聞こえない部屋にPCがあることが皮肉となってしまったようだ。PCから会員登録を試みたが、認証手段の携帯番号入力が虚しく悲しく断念。万策尽き、途方に暮れている時に偶然にも配達センターのFAX番号をWeb上発見。早速実施してみたが、通信エラーで頓挫。数度試みたが同じエラーで断念。しばらくすると配達センターから再送依頼のFAXが届いた。再度実行すると今度はエラーなく送信完了し、ほどなく「再配達依頼を受けました」旨のFAXがあり、その15分後に荷物が到着・受取った。ドライバーの方とお互いの通信障害の被害を労い合った。

【障害3日目】朝、まだ障害復旧されていないことを確認した。万が一を考慮し、当初予定していた新作へ向けての「調達と準備」を中止とした。そこで急遽、当「福Q」を思いついた。通信障害完全復旧を確認できたのは、その日の夕刻であった。

福Q(胡瓜/大葉/ボラ)



「福Q」は、「復旧」の意味と音をかけたつもり。苦労が報われたようなたいへん素晴らしい仕上がり「怪我の功名」が瞬間浮かんだ。